

中高年齢者の保健調査

— 県内一農村都市における事例 —

高岡市南星クリニック 長谷田 祐作
長谷田 祐一

はじめに

高齢化社会を控え、さきに私達は富山県内各地にわたって中高年齢者の保健調査を行ったが、その状況は第15巻において明らかにされた通りである。

今回私達は上記調査に含まれていない地域において同様調査を行う機会を得たのでその概要（今回は有病状況）について報告し会員各位の御参考に供したいと思う。

調査は当県内砺波市における2地区であるが、当市は県内西部やや中央に位置し第1図に示すように東は婦中町、山田村（共に婦負郡）に接し南は東砺波郡庄川町、井波町、福

野町に西は小矢部市に、そして北は西砺波郡福岡町、高岡市、射水郡小杉町に接し、いわゆる砺波平野の中核的都市となって居り人口約4万、チューリップの生産地として日本は勿論、諸外国においても知名度が高い。

水田稲作も勿論行われ富山県内穀倉地帯の一つをなしているがその他県内で最初に（大正12年）上水道による給水が行われたことも関係者の知る処である。

昭和60年4月現在で第1表に示されるように17の行政区画が区分されているがそれぞれの人口及び高齢者実勢を知ることができる。

調査を行ったのはこの中の高波地区及び梅壇山地区であるが前者は昭和29年1月に西砺

第1図. 砺波市の位置



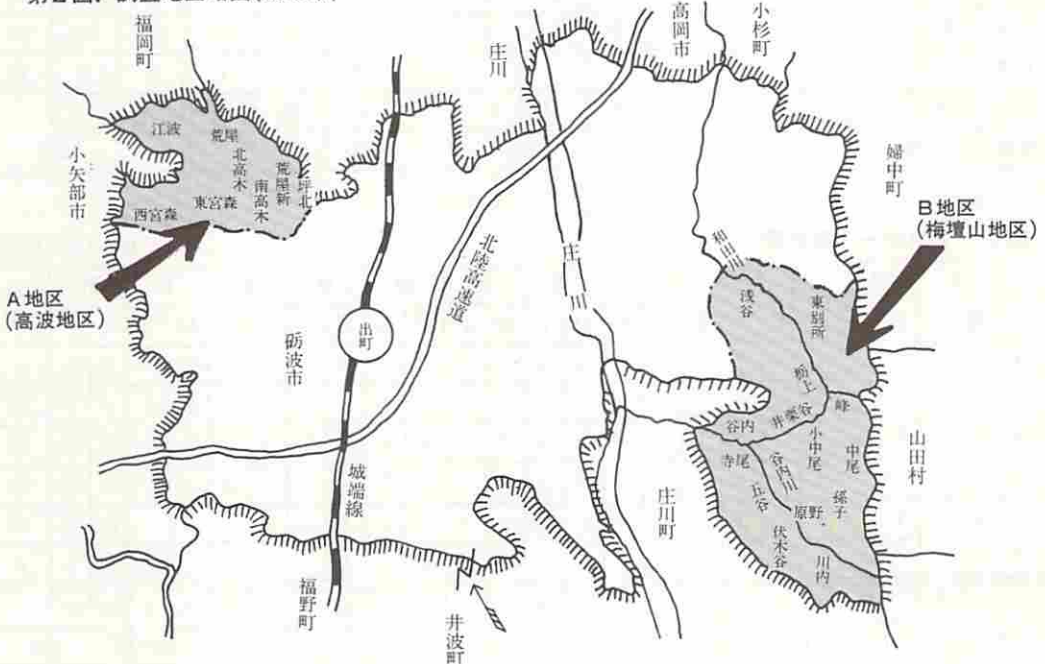
表1 高令者実勢 (昭和60年4月1日現在)

地区	人口総数	長寿者率 ₀	老年人口割合 ₀	超高令者率 ₀
出町	6,893	19.0	13.3	6.5
庄下	1,862	17.4	12.0	8.8
中野	1,669	22.4	16.1	7.4
東野尻	1,797	21.2	15.4	21.6
五鹿谷	1,723	22.8	16.5	14.0
鷹栖	2,633	17.8	12.8	8.8
若林	972	21.8	16.4	12.5
高波	1,559	23.4	16.4	23.3
林	3,036	17.8	13.0	20.2
油田	3,535	12.7	8.7	12.9
南般若	1,454	19.6	14.5	0.0
柳瀬	1,013	24.4	18.7	10.5
太田	1,756	21.9	15.0	0.0
東般若	1,653	21.2	14.5	8.3
梅壇野	1,753	21.7	15.4	29.6
般若	2,516	20.1	14.3	8.3
梅壇山	949	29.3	21.4	19.6
合計及び平均	36,773	19.7	14.0	11.9

波郡より、後者は同年3月に東砺波郡よりそれぞれ編入されている。その所在は第2図の如くで前者にあっては北は高岡市及び福岡町(上記)に、西は小矢部市に接している平地地区であり水田稲作が主体であるが一部チューリップの栽培も行われ北から江波、荒屋、北高木、荒屋新、やや南に西宮森、東宮森、南高木、坪北の各部落が見られるが行政的には6区画に纏められて自治振興会が形成されている(以下A-地区と略称することとする)。

梅壇山地区は同上図に示される如く当市の東南に位置し東は前記婦中町、山田村に隣接し西及び南は上記庄川町に接する丘陵・山地で標高200mないし500mを算し、谷内川という流れを挟んで谷内、寺尾、五谷、伏木谷、原野、孫子、川内の各部落が、また和田川(県営水道の取水源の一つ)を挟んで浅谷、塩谷、東別所、栃上、井粟谷、峰、小中尾、中尾の各部落が点在しているが、これらは11区画に纏められて自治振興会を形成しているが水田稲作及び林業が主な産業となっている(以下B-地区と略称することとする)。

第2図. 調査地区略図(砺波市)



調査方法及び成績など

調査用紙は前回使用したと同様であるが、両地区とも自治振興会の全面的協力をうけて行われた。すなわち同会の地区担当者会議の時に用紙を配付、調査の趣旨など概略を説明、一戸に一部の割で配付し記入してもらい一定日時を置いて集めてもらうこととした。A-地区では11月30日までに、B-地区では10月20日までに調査用紙の回収が得られたがその状況は第2表及び第3表の如くで前者は299件、後者は183件を算えることができた。両者ともに30歳台から80歳台にわたり60歳台が最も多く次いで50歳台がこれに次いでいる。

次に設問6「現在のあなたの体の状態」で今、具合の悪いところがあると答えたものは

第4表及び第7表の如くでA地区で49.4% B地区で59.0%見られた。具合の悪いところがないのはA-地区では第5表の如く47.4%、B-地区では第8表の如く38.2%であり、第6表及び第9表には「ある、ない」の記載のなかったものを示した。

次に具合の悪いところがあると答えた事例については、その部位は何処かを見ると第10表及び第11表の如くでXIII項、筋・骨格系、具体的に挙げると腰、肩、手足などの異常を訴えるものが最も多く次いでXVI項、診断名不明確すなわち「めまい」、「身体が疲れて易い」などが挙げられ第3位は循環系の異常すなわち中風、高血圧などの順になっている。

これら異常ありとする事例で保健薬などの

表2 アンケート集計表

(A：平地地区)

地区 性別 年代別	I		II		III		IV		V		VI		計		総計
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	
80才					1		1		1				3		3
70才	5		6			1	3	1	5	1	6	6	25	9	34
60才	8	4	15	11	8	2	7	9	9	7	7	10	54	43	97
50才	7	8	18	11	3	4	7	2	11	1	7	8	53	34	87
40才	6	7	15	11	6	1	3	2	9		4	3	43	24	67
30才		1	2				3		3	1		1	8	3	11
計	26	20	56	33	18	8	24	14	38	10	24	28	186	113	
総計	46		89		26		38		48		52		299		

表3 アンケート集計表

(B：山間地区)

	I		II		III		IV		V		VI		VII		VIII		IX		X		XI		計		総計
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	
80才					2		1				1	1					1						5	1	6
70才	3		4		4	1	6			7	3				1	4	2	1		2	1	31	8	39	
60才	7	2	5		3		9	1	1	9	4	3		5	6	2	1	2		2	4	48	18	66	
50才	2	1	3		4	1	4			2	5	2	4		6	3	3	1	1	2	2	34	12	46	
40才	2		1				3	1		1	1	1		2	1	1	2	1		2		14	5	19	
30才	2				1	2								1		1						6	1	7	
計	16	3	13		13	3	25	2	1	2	23	11	8		14	11	12	6	5	2	8	5	138	45	
総計	19		13		16		27		3		34		8		25		19		7		13		183		

表4 体に具合の悪いところがある
(A:平地地区)

地区 年代別	I		II		III		IV		V		VI		計		総計
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	
80才						1		1					2	2	
70才	5		5			3	1	4	1	4	4		21	6	27
60才	5	1	8	11	5	1	4	6	4	2	4	5	30	26	56
50才	5	5	8	5	3	3	4		5	1	3	2	28	16	44
40才	2	3	4	3	1	1			2		1		10	7	17
30才						1		1					2	2	
計	17	9	25	19	9	5	13	7	17	4	12	11	93	55	148
総計	26		44		14		20		21		23		148(49.4%)		

表7 体に具合の悪いところがある
(B:山間地区)

地区 年代別	I		II		III		IV		V		VI		VII		VIII		IX		X		XI		計		総計		
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F			
80才													1	1											4	1	5
70才	3		3		2	1	6				6	3					1		1		2	1		24	5	29	
60才	7	1	3		1	5	1	1		6	2		4		1	1	1		2	4				33	7	40	
50才	1				2	1	4			2	4	1	2		3	2		1	1	2	1			18	9	27	
40才	2		1					1	1		1							1						5	2	7	
30才																											
計	13	1	7		7	2	17	2	1	2	18	5	4		7	2	2	3	3	2	5	5		84	24	108	
総計	14		7		9		19		3		23		4		9		5		5		10		108(59.0%)				

表5 体に具合の悪いところがない
(A:平地地区)

地区 年代別	I		II		III		IV		V		VI		計		総計
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	
80才															
70才			1			1			1		2	2	4	3	7
60才	3	3	7		3		3	2	4	3	3	5	23	13	36
50才	2	3	9	6		1	3	2	5		4	6	23	18	41
40才	4	4	10	8	5		3	2	7		3	3	32	17	47
30才		1	2				2		2	1		1	6	3	9
計	9	11	29	14	8	2	11	6	19	4	12	17	88	54	142
総計	20		43		10		17		23		29		142(47.4%)		

表8 体に具合の悪いところがない
(B:山間地区)

地区 年代別	I		II		III		IV		V		VI		VII		VIII		IX		X		XI		計		総計	
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F		
80才																									1	1
70才			1		2					1					1	3	2							7	3	10
60才	1	2			2		4			3	4	1		1	3	1		1						15	8	23
50才	1	1	3		2					1	1	2		3	1	3						1		16	3	19
40才							2					1	1	2		1	1	1		1		1		8	2	10
30才	2				1	2									1	1								6	1	7
計	3	2	6		1	8				5	6	4		7	5	10	3	2		2		2		53	17	70
総計	5		6		7		8		0		11		4		12		13		2		2		70(38.2%)			

表6 不明(記載なし)
(A:平地地区)

地区 年代別	I		II		III		IV		V		VI		計		総計
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	
80才					1								1	1	
70才															
60才					1		1	1	2				1	4	5
50才			1						1				2	2	
40才			1										1	1	
30才															
計			2		1	1	1	2	2				5	4	9
総計	0		2		2		1		4		0		9		

表9 不明(記載なし)
(B:山間地区)

地区 年代別	I		II		III		IV		V		VI		VII		VIII		IX		X		XI		計		総計
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	
80才																									
70才																									
60才																	3							3	3
50才																									
40才																1					1		1	1	2
30才																									
計																4					1		1	4	5
総計															4						1		5		

表10 具合の悪いところはどこか
(A：平地地区)

年代別 病類	(A：平地地区)						
	80才	70才	60才	50才	40才	30才	計
I							
II							
III		1(1)		2			3(1)
IV							
V							
VI		(1)	1	1	1(1)		3(2)
VII		6(2)	9(1)	2	1		18(3)
VIII				1			1
IX			3	3(1)	2(2)		8(3)
X							
XI							
XII							
X III	1	4(1)	11(2)	9(1)	5	2	32(4)
X IV	1	13(1)	6	9	2		31(1)
記載なし		3	26	17	6		52
計	2	27(6)	56(3)	44(2)	17(3)	2	148(14)

表11 具合の悪いところはどこか
(B：山間地区)

年代別 病類	(B：山間地区)						
	80才	70才	60才	50才	40才	30才	計
I							
II							
III	1		1				2
IV			1				
V		(2)	3				1(2)
VI		4	7	(1)	2		9(1)
VII	2	4(2)		4	1		18(2)
VIII			5				
IX		1(1)		4(1)	1(1)		11(3)
X	1			1			2
XI							
XII							
X III	2	8	13(9)	10(3)	1		34(12)
X IV		8	7	5	2		22
記載なし		3	3	3			9
計	5	29(5)	40(9)	27(5)	7(1)		108(20)

病類区分は傷病大分類による ()内は他と重複するものの数を示す。(以下同じ)

表12 保健薬など使用状況

(A：平地地区)

年代別 病類 地区	A：平地地区										計	
	イ使っている		イ①(医師の薬)		イ②(売薬など)		イ③(その他)		ロ使っていない			
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
I	2		7	6	(2)	2(1)	1		1	1	11(2)	9(1)
II	3		10	4(1)	4(1)	4(1)			5		22(1)	8(2)
III	2	1	2	2	3(1)	1	1		1	1	9(1)	5
IV	2	1	7	5	1	1			3		13	7
V	2		12		(2)		1		1	2	16(2)	2
VI	2		8	7	1(1)				1	1	12(1)	9(1)
計	13	2	46	24(1)	9(7)	0(0)	0		12	5	83(7)	40(4)
総計	15		70(1)		18(0)		3		17		123(1)	

(注) イ欄は使っているとのみ記載し内訳の記載のないもののみ挙げた。
(以下同じ)

表13 保健薬など使用状況

(A：平地地区)

年代別 病類 地区	A：平地地区										計	
	イ使っている		イ①(医師の薬)		イ②(売薬など)		イ③(その他)		ロ使っていない			
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
I			8	1	1				3		12	1
II	1		3								4	
III			5	1	2						7	
IV	1		11	1	2(2)				3		17(1)	1
V	1		1		(1)	(0)			1	1	1(1)	1(1)
VI	1		10	3		1(1)	1		3	1	18(1)	5(1)
VII	1		2						1		4	
VIII			6	2	1	1					7	3
IX			2	1	(1)				2		2(1)	
X		1	3	1					1		3	2
XI		1	4	4							5	5
計	5	2	57	15	6(3)	2(2)	1		11	4	80(3)	23(2)
総計	7		72		8(5)		1		15		103(5)	

使用の有無については第12, 13表の如く「医者
の薬」が最多を占め、次に「売薬, 買い薬」
の順となっている。全く使用しないものも13.8
%, 14.5%と1割以上を占めている。

次に身体に異常を訴えないものについて,
健康のためにしていること, 注意しているこ
とは何か?を見ると第14, 15表の如く約20%
強が「体を動かすようにしている」, 「飲食物
に注意する」, 「生活のリズムを大切にす
る(無理をしない)」などと答えているが, 健康器具
を使用するというものも少数見られ, また身

表14 健康のために何か行ったり,
注意したりしているか (A: 平地地区)

地区	有・無 性別		イ(いる)		ロ(いない)		計	
	M	F	M	F	M	F	M	F
I	1	1	6	8	7	9		
II	5	4	24	8	29	12		
III	1	1	7	1	8	2		
IV	1		6	7	7	7		
V	6	1	12	3	18	4		
VI	3	4	8	12	11	16		
計	17	11	63	39	80	50		
総計	28(21.5%)		102		130			

表15 健康のために何か行ったり,
注意したりしているか (B: 山間地区)

地区	項目	イ(いる)		ロ(いない)		計		総計
		M	F	M	F	M	F	
I				2	2	3	2	5
II				6		6		6
III	1			3		4		4
IV	1			5		6		6
V								0
VI	1	1		3	4	4	5	9
VII	2			2		4		4
VIII	1			5	4	6	4	10
IX	4			5	2	9	2	11
X	1			1		2		2
XI				2		2		2
計	12	1		34	12	46	13	59
総計	13		46		59			

体に異常があると訴えたものについても同様
内容が見られたが, これらについては稿を改
めて報告したいと思う。

ハリ, キュウ, マッサージの利用について
は第16, 17表の如くで40%強が時どき行くと
答え30%強が全く利用したことはないと答
えている。身体に異常を見ないものも第18, 19
表に示す如くA-地区では42.8%, B-地区
で50.7%が利用して居り, 利用度は異常のあ
る・なしを問わず可成り高いようである。

表16 ハリ・キュウ・マッサージ利用状況
(B: 山間地区)

地区	項目	イ		ロ		ハ		ニ		計	
		M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
I				6	1	2		1		9	1
II	1		2					2		5	
III				2	2	3		1		6	2
IV	2		4	2	3			5		14	2
V							1	1	1	1	2
VI	1		3	3	2	1	10	1		16	5
VII			2		1					3	
VIII			3	1			1	1		4	2
IX			1	1	1	1		1		2	3
X			2				1	2		3	2
XI			2	3	2			2		4	5
計	4		27	13	14	3	22	8		67	24
総計	4		40		17		30		91		

17 ハリ・キュウ・マッサージ利用状況
(A: 平地地区)

地区	項目	イ		ロ		ハ		ニ		計	
		M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
I	1		7	2	3		4	6	15	8	
II	2	1	7	6	3	6	12	3	24	16	
III			4	2	3	2	1		8	4	
IV	1	2	6	5	3		2		12	7	
V	2		2		1	1	6	3	11	4	
VI			7	4	2	3	1	1	10	8	
計	6	3	33	19	15	12	26	13	80	47	
総計	9(9.0%)		52(40.9%)		27		39(30.7%)		127		

表18 ハリ・キュウ・マッサージ利用状況

(A：平地地区)

項目 地区	イ		ロ		ハ		ニ		計	
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
I			2	2	1	2	4	5	7	9
II			5	1	6	2	15	7	26	10
III			1	1	1		6	1	8	2
IV			2	1	3	1	5	4	10	6
V			1	1	4		10	3	15	4
VI			4	6	2	5	5	7	11	18
計	0		15	12	17	10	45	27	77	49
総計			27		27		72		126	

表19 ハリ・キュウ・マッサージ利用状況

(B：山間地区)

項目 地区別	イ		ロ		ハ		ニ		計	
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F
I					1		2	1	3	1
II							6		6	
III			1		4	1			5	1
IV			3		3		1		7	
V										
VI					1	2	2	4	3	6
VII					3		1		4	
VIII			2	1	1	1	3	3	6	5
IX			3		1	1	5	2	9	3
X					1		1		2	
XI			2						2	
計	0	0	11	1	15	5	21	10	47	16
総計	0		12		20		31		63	

おわりに

第15巻報告中に記された如く調査用紙の項目は多岐にわたり記載の洩れ、不明確なものも見られたが今回はそれらの中に、身体に異常があるかどうか及びそれに関連した項目について概況を報告した。

おわりに当たりこの調査に御協力を頂いた両地区の自治振興会の役員の方がた及び記入を頂いた各位に厚く謝意を表する次第である。

<文 献>

- 1) 長谷田祐作：近年における北陸三県の高令人口推移について、富農医誌、第13巻、昭57年
- 2) 越山健二他：中高年令者の保健調査（第1報）、富農医誌、第15巻、昭和59年